

英国現代奴隷法に関する声明（仮訳）

千住金属工業株式会社とその関連会社（以下「千住金属工業グループ」）は、英国現代奴隷法 2015 に基づき、事業およびサプライチェーンにおける奴隷労働および人身売買の防止における取り組みについて公表いたします。

1. 事業内容

千住金属工業グループは、はんだ材料、FA 装置、すべり軸受事業を核として、Electronics/Chemicals/Mechanics のコア技術を融合させ、その技術をより深めることでシナジーを創出、電気電子機器、半導体、自動車など、あらゆる分野の多様なハイテクノロジー化の一翼を担っています。

2. 方針

千住金属工業グループは「経営の理念」を基に、関係法令を遵守の上、従業員、サプライチェーンに対し、常に誠実な関係を維持することを基本方針とし、「最良の会社」を目指し次の活動を展開します。

- ・ 経営理念

<https://jp.senju.com/ja/company/philosophy.php>

- ・ CSR 基本方針

https://jp.senju.com/ja/csr/csr_philosophy/philosophy.php

- ・ CSR 実践目標

https://jp.senju.com/ja/csr/csr_philosophy/goals.php

- ・ 購買方針

https://jp.senju.com/ja/csr/social_responsibility/supplier_responsibility/principles.php

3. デューディリジェンスのプロセスと管理

千住金属工業グループは経営の誠実さを「人」を通じて、ステークホルダーとのコミュニケーションをグローバル展開している姿を開示するために、RBA（Responsible Business Alliance：2017年に EICC から改称）の行動規範に規定されている 5 つの側面と、毎月実施している CSR 会議で報告のあった内容を、GRI が推奨する下記の 4 ステップ・フローに沿って重要課題を特定しています。

ステップ 1. 重要な課題・事象の特定

- ・ GRI 項目の側面や重要な RBA 自主監査項目
- ・ 影響を及ぼす範囲の特定

ステップ 2. 優先付け

- ・ ステークホルダーと会社にとっての重要性評価
- ・ 月次 CSR 会議での定性的・定量的な評価

ステップ3. 確認

- ・ GRI 項目の側面の範囲・影響・期間の評価
- ・ 経営陣による承認と開示

ステップ4. 見直し

- ・ 印刷物とソフトの配布と開示（日本語版・英語版・中国語版）
- ・ 月次 CSR 会議にて意見を分析・報告し次回に活用

4. パフォーマンス評価

- ・ 労働安全、健康維持

https://jp.senju.com/ja/csr/social_responsibility/employee_responsibility/safety.php

- ・ 障がい者の雇用促進

https://jp.senju.com/ja/csr/social_responsibility/employee_responsibility/disabilities.php

- ・ 職場環境改善を目的とする自己申告制度

https://jp.senju.com/ja/csr/social_responsibility/employee_responsibility/workplace.php

- ・ スマイルメール制度

https://jp.senju.com/ja/csr/economic_responsibility/compliance.php

5. 研修

千住金属工業の教育基本方針は、全従業員が絶えず新しい知識の修得に努め、広い視野を持って合理的な判断ができる人を養成することを目指しております。2017年度は、e-Learning・集合研修・その他教育を実施いたしました。

- ・ 人材育成

https://jp.senju.com/ja/csr/social_responsibility/employee_responsibility/education.php

千住金属工業グループは、引き続き労働環境のさらなる改善や各種取り組みの充実を行い、奴隷労働、人身売買のリスク防止に努め、事業活動における透明性と説明責任を果たしてまいります。

2018年9月



大竹 基之

千住金属工業株式会社

理事